

# 県高P連広報

発行所  
新潟県高等学校  
PTA連合会  
新潟市中央区新光町10-3  
技術士センタービルII-701  
TEL (025) 384-8244  
FAX (025) 384-8288

印刷所  
共立印刷(株)



## コミュニケーション

新潟県高等学校PTA連合会

副会長 菅 亮栄

(新発田高等学校後援会長)

日頃より新潟県高等学校PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、教育の現場では未だ緊張感が続いていることと思います。そして、今、学校内でもマスクはもはや必須なのだと思われまふ。しかし、マスク越しでは表情がわかりづらく、話す内容もうまく伝わりにくいはずで、そのような状況で、話し方によっては、相手を傷つけたり、または傷ついたりするのかもしれない。生徒たちも先生方もストレスがたまりやすく、大変ご苦労されていることと思います。授業中にあくびをしてもわかりづらいつらいつらという利点もありますが、マスクなどせずに表情豊かにコミュニケーションを取れる日が、一日も早く来ることを願わずにいられませぬ。

コミュニケーションと言えば、近頃はLINEなどのSNSで連絡を取り合うことが多くなっています。このご時世で家にいる時間が増え、どうしてもスマホを見て時間を多く取ってしまう。ネット依存やスマホ依存という言葉

もよく聞きますし、子どもたちを取りまくインターネットやSNSなどのトラブルは心配です。私自身もSNSや動画やゲームなどでスマホをとってもよく使います。もしかしたら子どもへの心配をする前に自分の行動を律する必要があるのかもしれない。もはや今の子どもたちにとっても、それは重要なコミュニケーションの手段になっており、高校生くらいになると、我々よりもうまく使いこなしているのかもしれない。

新発田高校では、これまで中止となっていた文化祭や修学旅行も、その代わりとなるものが行われる計画があるようです。高校は一生の思い出がたくさんできる場所です。先生方や生徒同士がお互いに理解し合えて、より深く気持ちが通じ合えることが望ましいです。そして、何物にも代えがたい素晴らしい時期を、悔いなく過ごしてもらいたいと思っております。そのためにも、県高P連を通じて、皆様と有意義な情報を共有していければと思います。今後ともよろしくお願いたします。

## 十九年ぶり 悲願の優勝

十日町高校陸上競技部保護者会会長

高橋 重成

十日町高校陸上競技部は、部員総数八十三名という大所帯で、今年度のインターハイにおいては、過去最高となる十四名の選手を輩出し、全国でも強豪校として知られています。

十月二十八日に新潟市デンカビッグスワンスタジアム周辺コースで行われた、県高校駅伝大会においても、女子チームが十九年ぶりに悲願の優勝を手にしました。また、男子チームも三位入賞と健闘し、男女とも日頃の練習の成果を十分に発揮できた大会となりました。女子チームにおいては、十二月二十六



日に行われる全国高校駅伝大会に出場します。選手達は日頃から、「絶対に優勝」という目標に向かってトレーニングを積んできました。今までの全国大会をあと一歩のところまで逃してきた先輩方の悔しい思いを胸に、全員で

タスキをつないでつかみ取った優勝です。それは、憧れの都大路への新たな挑戦につながっています。

最後に、日頃よりご指導いただきました先生方、保護者の皆様、後援会の皆様など、たくさんのご支援に感謝申し上げます。

## 経験を糧に

長岡商業高校速記部保護者

安澤 弥里

長岡商業高校に入学し、部活動体験で県内唯一の速記部に興味を持ち入部を決め、入部当初は独特な速記文字を覚えるのに苦労し「難しい、難しい」と言いながら練習していたことを思い出します。二年生になり、先輩方が部活動を引退し、部員一人になった時期もありました。その後、先輩が入部し、部員二人での活動をしてきましたが、少人数での活動は大変なことやプレッシャーもあったと思います。それでも毎日練習に励み、全国大会という目標に向けて活動してきた中、新型コロナウイルス感染症の影響で大会への参加を断念することになりました。



速記文字「長岡商業速記部」

二年連続で参加できずに非常に残念だったと思います。それでも検定という目標に気持ちを切り替え、最後の検定ではこれまでの練習の成果を発揮できたようです。部活動を通していろんな経験をし、大きく成長したと思います。三年間で学んだ様々な経験はどこかで役立つことがあると思うので、これからの人生に生かしてほしいと思います。ご指導ください。

ました  
講師の  
方々、  
顧問の  
先生方  
に感謝  
いたし  
ます。

地区研修会

新潟地区 新潟工業高校

PTA会長 眞水 正弘

新潟地区高等学校PTA指導者研修会は、十一月二十二日(月)、新潟東映ホテルにて開催されました。当日は、三十三名の皆さんから参加をいただきました。はじめに、県高P連会長の脇屋淳子様より今年度の活動概要と次年度からの安全互助会費値上げについて説明がなされ、参加された各PTA役員の皆様から了承していただくことができました。研修会では、県教育庁生徒指導課長の石黒浩司様から、SNSでのいじめの現状と子どものSOSのサインに気付いてあげることの重要性を、丁寧に説明して



い頃から思い描いていた野球がしたい、という夢を様々な苦労や壁を乗り越えて大人になって叶えた体験談が話され、我々も元氣と勇気をいただくことができました。次年度以降、PTAとしてコロナ後を見据えた新たな活動を模索するための、有意義な研修会となりました。

いただきました。続いて、新潟県女子野球連盟会長の

頼所理加様より「女子野球という夢に向かって、私ができること」と題して、自身が幼

巻地区 分水高校

PTA会長 渡邊 弘二

十一月二十二日(月)、巻地区高等学校PTA研修会が、巻ふれあい福祉センターで、四校三十五名が参加して開催されました。

研修会では、県高P連地区理事の近藤芳一様から挨拶をいただき、当番校長挨拶、県高P連説明と続き、県教育



庁生徒指導課副参事の清水謙一様から「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」をテーマにご講話をいただき、認識を更に深めることができました。

研修の後半では、三条地域振興局健康福祉環境部長の鈴木幸雄様より、「新型コロナウイルス感染症概要と予防について」と題したご講演をいただきました。かぜ症状を起こすウイルス、新型コロナウイルス感染症の概要・診断・重症度分類・治療、保健所による積極的疫学調査、濃厚接触者とは、陽性者の療養と濃厚接触者の経過観察、ワクチン、これからの感染防止対策と、ホットなお話を聞かせていただきました。

最後に、各校のPTA役員、会員、教職員の皆様、ご協力に感謝いたします。

新発田・村上地区 荒川高校

PTA会長 坂上 裕美

新発田・村上地区は、十一月二十二日(月)、荒川地区公民館多目的ホールで研修会を開催しました。各校から多くのご参加をいただき、当番校として、心よりお礼申し上げます。



研修会は、はじめに県高P連副会長の菅亮栄様よりご挨拶と本年度の県高P連活動報告がありました。その後、「深めよう絆にいがた県民会議」座長で

ある、橋本定男様からご講演いただきました。 「子どもと関わる原則」といじめ問題」と題して、保護者や学校が子どもと関わる際に気を付けるとよいことを理論的にお話しいただきました。魔法の言葉で褒めることの大切さや対話による関係改善については、多くの参加者が関心を寄せて熱心に聞き入っていました。また、いじめの定義について、親子であるいはクラスで考えたいテーマとして、丁寧に解説いただきました。

休憩後、県教育庁生徒指導課指導主事の山中政一様より、本県のいじめと自殺の現状、親や大人が子どもにしてあげられる対策等についてお話をいただきました。更に各校PTAの活動状況報告が行われました。大変有意義な研修会となりましたことを報告します。

新津地区 村松高校

PTA会長 志村 幸恵

十一月十一日(木)に五泉市村松の村松公民館を会場に、七校三十一名の皆様から参加いただきました。当番校会長挨拶後、県高P連理事の田中義信様からお話をいただき、続いて県教育庁生徒指導課副参事の清水謙一様から、学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防についてのご講話をいただき、認識を深めることができました。

研究協議 今回は、各校混合の六グループに分かれ、「今年度の各校のPTA活動の状況」、「新型コロナウイルス感染症拡大防止とこれからのPTA活動」をテーマに活発な協議が行われ、今後に生かせる前向き



な情報交換ができました。 新発田中央短期大学 長草間俊之様を講師にお迎えし、「家庭教育の大切さ」を演題に講演

演をしていただきました。教育者としての数々のご経験を踏まえて、わかりやすく、ユーモアを交えてお話しされ、各家庭で参考になるお話をお聞きすることができました。 コロナ禍の中、様々な制約はありましたが、非常に有意義な会となりました。

長岡地区 長岡大手高校

PTA会長 恩田 孝夫

十一月八日(月)、アトリウム長岡にて、長岡地区PTA指導者研修会を開催しました。

県高P連副会長の高野克広様からのご挨拶を皮切りに、県高P連事務局長の岩田宏樹様より、令和三年度の各種大会についてのご報告、安全互助会の会費見直しについてのご説明をいただきました。会費見直しについては、参加者より、有意義な質問・ご意見をいただきました。続いて、県教育庁生徒指導課副参事の石山崇様より、県のいじめ防止の取組、いじめの最新の定義などをご説明いただきました。休憩後、グリーン株式会社社会貢献チー

ムの小木曾健様より「正しく怖がるインターネット事例に学ぶ情報リテラシー」と題して、オンラインにてご講演いただきました。現代社会では当たり前となったネット利用の光と影を、緩急に富んだわかりやすい内容でご説明いただき、四十三名の参加者も、最後まで興味の尽きない講演会となりました。



例年行われている教育懇談会は昨年に引き続き中止となりましたが、オンラインの利用等、新しい形式での指導者研修会を開催できました。

魚沼地区 六日町高校

PTA会長 大久保一也

魚沼地区高等学校PTA研修会は、十一月十七日(水)、南魚沼市民会館を会場に、高等学校・中等教育学校十二校



五十一名で開催されました。はじめに、県高P連理事で小千谷高校PTA会長の丸山強一郎様から、開会の挨拶と、県高P連の状況についての報告をいただきました。

した。その後、県教育庁生徒指導課副参事の石山崇様から「学校と保護者が連携したいじめ対策、自殺予防について」をテーマに講演をいただきました。SNSでのいじめやトラブル、こどものSOSの受け止め方、話の聞き方などについて、わかりやすくお話をいただき、認識を深めることができました。

実践発表では、小千谷西高校、八海高校、松代高校の三校から発表をいただきました。各校とも、コロナ禍で思うような活動ができない中ではありますが、色々工夫されて活動を行っている様子がわかり、非常に参考になりました。今年度も昨年同様、コロナ感染拡大防止の観点から、各校の参加人数を制限しての開催としました。様々な制約はありましたが、非常に有意義な会となりました。

三条・燕・加茂地区 三条高校

PTA会長 古川 裕之

十一月十七日(水)、三条東公民館を会場に、三条・燕・加茂地区高等学校・中等教育学校七校三十七名でPTA指導者研修会を開催しました。

はじめに、県高P連理事で三条東高校PTA会長の澁谷高幸様より、ご挨拶と県高P連事務局資料のご説明をいただきました。その後、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の関口和之様より「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」と題したご講話をいただきました。情報交換会では、コロナ禍でのPTA活動の工夫について、ICT活用の実践などが各校から発表され、非常に参考になりました。

柏崎地区 柏崎常盤高校

PTA会長 大矢 洋則

柏崎地区高等学校PTA研修会は、十一月二十二日(月)、柏崎市産業文化会館を会場に、開催されました。

はじめに地区高P連会長の丸山大様のご挨拶があり、続いて県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の関口和之様から「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防につい



後半は、農プロデューサースリッツ代表の新谷梨恵子様より「さつまいも経営戦略(新しい未来へ種を蒔く)」と題し、ご自身のさつまいも愛と新潟愛を余すところなく情熱的に語っていただきました。地域のヒトやモノをつなげ新しい価値の創出に励むご様子に、心がほっこりとし勇気づけられる素晴らしい講演でした。



昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した形式で開催しました。研修会後の教育懇談会は中止となりましたが、大変有意義な研修会となりました。ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

「と題し、ご講話をいただきました。いじめの定義や態様、SNSでのトラブルなどについて、わかりやすくご説明いただきました。研究発表においては、私から、コロナ禍の中の柏崎常盤高校PTAの取組を紹介させていただきました。

引き続き、新潟産業大学教授の大石友子様から「アンコンシヤスバイアス」という演題で、ご講演をいただきました。このテーマは「無意識の偏見」という意味で、人は人種、宗教、性別などに無意識に偏見や思い込みを持ってしまいうことです。それを克服して多様性を認めることが、より良い社会につながることを学びました。研修会全体を通して、PTAの一員として意識が高まりました。

高田・直江津地区 新井高校

PTA会長 福田 一幸

去る十一月十九日(金)、高田地区・直江津地区研修会をホテルハイマートにて開催いたしました。各校から多くのご参加をいただきましたこと、心より御礼を申し上げます。

はじめに県高P連副会長の磯田一裕様より県高P連の活動報告等があり、続いて糸魚川白嶺高校PTA会長の齊藤和志様より「高校教育とPTA」のテーマで活動報告をいただきました。

休憩を挟んで、県教育庁生徒指導課副参事の清水謙一様より「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」のご講和を拝聴し、いじめの定義が以前より広がっていることや子どもの

SOSに気付くための親としての関わり方等を教わりました。

最後に、えちごトキめき鉄道株式会社社長の鳥塚亮様から「ローカル鉄道を上手に使う地域活性化」という演題でご講演をいただきました。いすみ鉄道社長時代の苦労話や地元の人たちを巻き込んだ地域ブランドの創出等、非常

のためになるお話を聞かせいただきました。

教育懇談会は今年も実施できませんでしたが、非常に有意義な研修会となりましたことをご報告いたします。



佐渡地区 佐渡総合高校

PTA会長 松田 宏

今年度の佐渡地区研修会は、十一月十二日(金)、八幡館おけさホールを会場

に開催し、島内五校六十名の参加がありました。

はじめに、県高P連理事で佐渡高校校長の遠間春彦様から、開会の挨拶と研修



会資料に沿った説明がありました。今年の研究協議は、「ご縁(えん)づくり」をテーマとして、羽茂高校PTA役員小林光雄様から発表していただき、発表内容に基づいた参加者によるワークショップを行いました。

その後、演題「成年年齢引き下げで変わること〜親・職員として留意すること〜」と題して、佐渡あおば法律事務所弁護士の岩田宏様から講演いただきました。十八歳に達して成人になると、父母の親権に服さなくなる。そのため、親としてどのような心構えで子どもたちと接していくとよいか、注意すべき点等をわかりやすく丁寧に教えていただきました。

各校のPTA役員、会員、教職員の皆様のご協力のお陰を持ちまして、充実した研修会となり、感謝申し上げます。

県高P連総会・安全互助会総会開催予告 六月三日(金)にイタリア軒で

日時 令和四年六月三日(金)

十二時三十分〜十七時 会場 ホテル イタリア軒(新潟市)

例年どおりの日程と内容で実施します。提案発表校は、次の四校です。

- 第一発表 五泉高校
第二発表 新潟南高校
第三発表 栃尾高校
第四発表 出雲崎高校

全国高P連大会開催予告 令和四年度は石川県で開催

期日 令和四年八月二十五日(木)・二十六日(金) 会場 いしかわ総合スポーツセンター (金沢市稚日野町北二二二番地)

石川県産業展示館 (金沢市袋島町南一九三番地)

大会テーマ 「輝く未来への礎」 サブテーマ

〜親から始める新時代の教育〜

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、令和二年度は中止、三年度はオンラインでの開催となった全国高P連大会ですが、令和四年度は、現地参加とオンライン参加の両方が可能となる予定です。具体的な開催方法や参加申込みについては、新年度にお知らせします。

令和四年度の北信越地区高P連研究大会石川大会は、全国高P連大会石川大会と兼ねて開催されます。

県高P連総会での提案発表校四校には、北信越地区高P連石川大会報告書の冊子で誌上発表をしていただきます。

県高P安全互助会の会費見直しについて

現在、県高P安全互助会では、会費について、年間全日制五百円を五百八十円に、定時制二百五十円を二百九十円に見直すことを検討しています。十一月の地区PTAでは、各地区の理事等が、その理由や背景について、各校PTA会長や校長など出席されていた方に説明いたしました。正式には、次年度総会で決定いただきます。令和五年度より新会費でのスタートを予定しています。

生徒数減少に伴う会費収入減が今後会の運営に深刻な影響を及ぼします。生徒が安全安心に教育活動に参加できますよう、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いたします。

【調査広報委員会委員】

- ◎新潟工業高校P会長 眞水 正弘
◎新潟南高校P会長 米山 一史
◎新潟西高校P会長 山木 英明
◎新潟南高校P会長 土田 貴子
◎新潟北高校長 市川 亮
◎新潟商業高校長 横堀 正晴
◎新潟中等教育学校長 仲野 孝
◎新潟向陽高校長 上野 昌弘
◎委員長 宮崎 和子
(事務局所在地)
新潟向陽高等学校
新潟市江南区亀田向陽四一三一
TEL〇二五(三八二)三三二二
FAX〇二五(三八二)一八三一

編集後記

新型コロナウイルスも発生から丸二年が経過し、流行当初のような行動制限は緩和されてきました。しかし、学校行事やPTA活動の中止など影響は大きく、学校と保護者の接する機会が失われ、互いの関係が希薄になってしまいました。こんな時こそ知恵を出し合い、新年度に向けて、新しいPTA活動を推進したいものです。(調査広報委員長)